

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブロッサムジュニア岡崎南教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っている	子どもの実態や支援目標を踏まえ、職員間で意見を出し合いながら活動プログラムを立案し、実施後の振り返りを次回に活かしている。	振り返りの充実と評価視点（活動のねらい等）の明確化を図り、支援の向上を目指す。
2	支援内容について話し合いが行われている	定期的なケース会議を通して情報共有と支援の質の向上を図っている。 児童の情報共有をその都度行い、職員間で継続的に支援内容の検討を行っている。	支援検討の質を高めるため、記録と振り返りの仕組みを強化していく。 本人・保護者の意向をより反映できる体制づくりを進める。
3	保護者等の意向を把握する機会を設けている	送迎時の何気ない会話からも保護者の不安や困りごとを汲み取り、職員間で共有をしながら支援に活かすようにしている	送迎時の聞き取りに加え、定期的な面談やアンケートの実施を検討し、より丁寧な意向把握と支援への反映に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニング等の家族等が参加できる研修の充実	職員体制や専門性の確保、保護者の参加のしやすい時間帯調整等の課題があり、研修実施まで至っていない。	保護者ニーズを把握した上で、参加しやすい体制を整え、年間計画に位置づけて計画的に実施していく必要がある。
2	保護者会等による、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の充実	保護者の多様な就労状況、職員体制上の課題により、交流機会の具体化・実施に至っていない。	保護者ニーズの把握と参加しやすい形の工夫を行い、段階的に交流機会を設けていく必要がある。
3	地域に開かれた事業所運営	日々の支援事業を優先する中で、地域との連携や交流の機会を十分に設けられていない。 人員体制や時間的制約により、地域への情報発信や交流機会が十分に行えていない。	地域への情報発信を強化するとともに、地域行事（清掃やお祭り等）への参加を通して段階的に交流機会を広げていく。